

令和5年6月16日（金）岐阜県発表資料		
担当課・係	担当者	電話番号
岐阜かかみがはら航空宇宙博物館指定管理者 （公財）岐阜かかみがはら航空宇宙博物館 学芸課	石原 安福	直通058-386-8500 FAX 058-386-9912
航空宇宙産業課 企画連携係	岩田 樋口	内線3765 直通058-272-8836 FAX 058-278-2653
各務原市 観光交流課 観光振興係	神田 河瀬	直通058-383-9926 FAX 058-389-0765

そらはく 空宙博に「Nano-JASMINE 衛星」を展示します

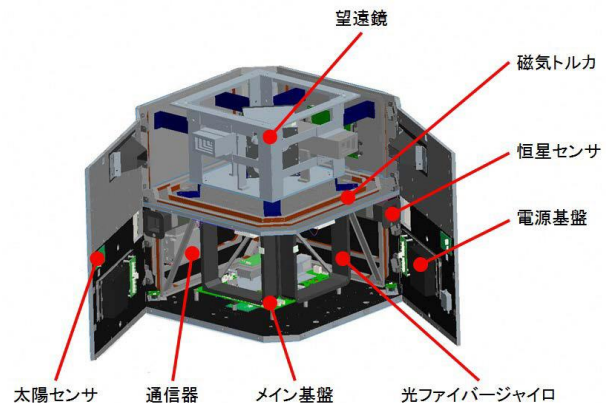
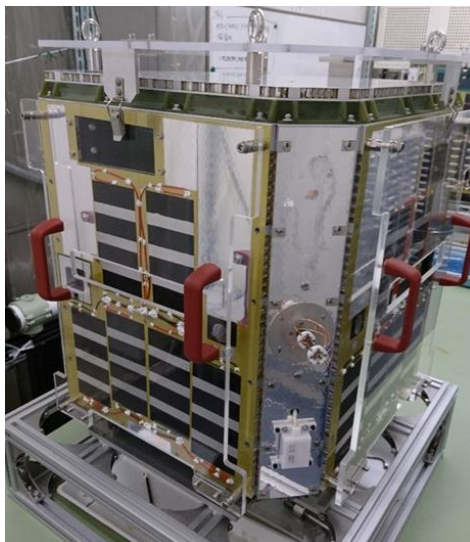
岐阜かかみがはら航空宇宙博物館（愛称「空宙博」）では、令和5年6月17日（土）から、日本初の超小型位置天文観測衛星「Nano-JASMINE 衛星」のエンジニアリングモデル*を常設展示します。

Nano-JASMINE 衛星は、天の川の中心付近にある星々の天球上での位置とその変化を世界最高クラスの精度で測定する JASMINE 衛星を第二弾とする JASMINE 計画シリーズの第一弾として製作されたものです。

Nano-JASMINE 衛星は、太陽系に近く明るい全天の星々の位置とその変化を測定する予定でした。残念ながら、同機は打ち上げられませんでした。その開発は JASMINE 衛星（2028年打ち上げ目標）による世界初の赤外線位置天文観測へとつながります。

世界初への挑戦をぜひ空宙博をご覧ください。

※エンジニアリングモデルは、基本設計に基づき製作され、機能・性能・環境試験で設計の妥当性を確認し、次の詳細設計段階に移行するためのデータを得るために製作されるもので、実際の打上げ実機（フライトモデル）とほぼ同一仕様。



○サイズ：約51cm×51cm×51cm

○材質：金属

<参考：JASMINE 計画シリーズについて>

JAXA、国立天文台、東京大学等は、太陽系の近くから天の川銀河中心付近に至るまでの星々の天球上での位置とその変化を正確に測定することにより、星までの距離や運動を得る日本初の位置天文観測衛星を「JASMINE 計画シリーズ」として進めている。赤外線による位置天文観測衛星は世界初。

このシリーズの人工衛星は

第一弾：Nano-JASMINE 衛星。 2010年開発完了、打ち上げられず。

第二弾：JASMINE 衛星。 開発中（現在の内閣府宇宙基本計画工程表では2028年が打ち上げ目標）

と、段階的に製作、運用する計画です。

<参考：Nano-JASMINE 衛星について>

2010年に完了したが、国際情勢等の影響から打ち上げられることなく、開発が完了した。ただし、同機の開発は、赤外線では世界最高の観測精度を目指して2028年度（目標）に打ち上げられる「JASMINE」衛星の開発にも活かされている。

なお、Nano-JASMINE 衛星の打ち上げ用実機（フライトモデル）は奥州宇宙遊学館に引き渡されている。